



日本共産党・前県会議員

2021年8月15日

# 加藤なを子



## 県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

TEL.0466-25-4776 FAX 25-4761

# 今になって、ワクチンが足りないとは！

## 2回目ワクチン接種完了

全国47の自治体の中で

## 46位の神奈川県！

神奈川県では、2回目のワクチン接種を完了した割合は、全国47の自治体で46位です。8月2日から緊急事態宣言が出されましたが、さらに感染者が増え、感染拡大のスピードが加速しています。陽性者の自宅待機も増え続けています。まさに命の危機です。政府は「中等患者は自宅待機が原則」とまで言い、与野党から大きな批判を浴びています。

共産党県議団は7月29日、政府に対して東京2020オリンピック・パラリンピックの中止を求めるよう要請を行ないました。今、コロナ感染拡大へ強い危機感を県民に示すことです。それでもオリンピックは強行されました。猛暑の夏との闘いと感染の恐怖の中、アスリートたちは耐えて競技を行ないました。東京五輪は選手たちにとっても、命がけの大会となりました。



命を守るために開催後でも、途中で中止をする決断こそ政府や県に求められていたのです。

私たちは、今すぐ国会を開き、どうしたらコロナを収束できるのか、あらゆる対策を集中して議論することを政府に求めるように、と要望しました。

### なを子の花だより

### 今週はひまわり



元気をもらえるひまわり畑！花言葉は「情熱、あなただけを見つめる、憧れ」です。花びらのように見える部分は舌状花と呼ばれ内側は筒状花で、それぞれが一つの花でどちらも花びらは5枚です。

いつも明るい太陽に向かっての姿が前向きでいいですね。

## 核兵器のない世界へ

署名と原爆パネル展

私の家の玄関  
ドアにつけま  
した。



～核兵器禁止条約に署名、批准を日本政府に求めます。

8月6日、辻堂駅で「藤沢原水協」や「ピースリレーふじさわ」など核兵器廃絶、平和を願う市民の有志が集まり、「日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名」と街頭原爆パネル展に取り組みました。



今もなお、世界には1万3000発もの核兵器が配備、貯蔵されています。広島、長崎の平和式典で、広島と長崎の両市長は、ともに一刻も早く核兵器禁止条約に署名、批准するよう、強く政府に求めました。



藤沢市議会も神奈川県議会も「核兵器禁止条約の署名、批准を政府に求める意見書」を提出することができません。（日本共産党は市も県も賛成しています）神奈川県内や全国では、意見書の提出が実現している議会がたくさんあります。

衆議院議員選挙では、被爆者と国民の声に誠実に応える政府をぜひともつくりましょう。

## コロナを押さえ込むには??



### ワクチン接種と同時にPCR検査を

黒岩知事が、鎌倉の海水浴場を開設していない由比ヶ浜海岸を視察し、地元住民以外はこないで！と発言の報道がありました。県内では緊急事態宣言後、葉山、逗子が海水浴場の休場を決め、藤沢市の片瀬東浜、片瀬西浜・鶴沼、辻堂の3海水浴場も、8月16日より休場を決めました。その結果、県内すべての海水浴場が休場となりました。



藤沢には、人気のショッピングモールがあり海水浴と食事、ショッピングができます。人流抑制は、到底難しい状況です。知事は今まで、「搬送する病院が見つからない可能性がある。地元住民以外は海に来ないで我慢してほしい！」と呼びかけていました。

菅政権は感染爆発を招いた責任をとらず、医療危機の中、命を守ることができないことは明らかです。ワクチンも十分でなく、政府は頼りにならないと、それぞれの自治体では独自で検査体制を強化し、感染を抑え込むために取り組んでいます。

**神奈川県知事は、県独自で検査体制を充実させ、命を守り、くらしと営業を守る補償を！**